

# 十勝ダム

## 十勝川の治水と水力発電を 目的とした特定多目的ダム

十勝川上流の十勝ダムは、山に降った流水の調節と水力発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。治水・利水機能を確認するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行っています。

※治水の役割のほか、発電・水道用水などを供給する役割もあるダムを「多目的ダム」といいます。

### 十勝ダムの施設概要

高さ	／	84.3m
長さ	／	443m
体積	／	3,715,000m <sup>3</sup>
総貯水容量	／	112,000,000m <sup>3</sup>
貯水面積	／	4.2km <sup>2</sup>
集水面積	／	592km <sup>2</sup>
ダム形式	／	中央コア型ロックフィルダム

## 洪水を防ぐ

十勝川は、過去に何度も洪水を繰り返し、流域に多大な被害を及ぼして来ました。十勝ダムは、上流に降った雨水を貯留し、川の水の流れる量を適切に調節することで、洪水を未然に防いでいます。



## 電気を作る

十勝川の豊富な水量を利用した再生可能エネルギーによる発電も十勝ダムの大切な役割のひとつです。ダム直下の発電所では有効落差49.5m、最大94m<sup>3</sup>/sの水を使い、最大出力40,000kWの発電を行ってクリーンなエネルギーを作ります。



# 札内川ダム

札内川の治水、水道と農業用水の供給、発電、河川の正常な流量の維持を目的とした特定多目的ダム

札内川上流の札内川ダムは、台風や大雨の際の洪水調節と水道・農業用水の供給及び電気を作る水力発電などを目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。十勝ダムと同様に、ダム管理に必要な放流の点検整備、観測・操作、流木処理などを行っています。

## 札内川ダムの施設概要

高さ	／	114m
長さ	／	300m
体積	／	770,000m <sup>3</sup>
総貯水容量	／	54,000,000m <sup>3</sup>
貯水面積	／	1.7km <sup>2</sup>
集水面積	／	117.7km <sup>2</sup>
ダム形式	／	重力式コンクリートダム

札内川ダムのフラッシュ放流の状況



フラッシュ放流とは、一時的にダムから多くの水を流すこと(Flush)で、川の礫の移動を促し、昔から札内川にいた動植物の生育地や生息地を守る取組です。



札内川ダム周辺図



平成28年洪水時の非常洪水吐越流状況

## 札内川ダムの堰堤改良事業

平成28年8月、連続して上陸した台風の影響により、ダムへの流入量が計画高水流量(700m<sup>3</sup>/s)を超える観測史上最大の714m<sup>3</sup>/sを記録しました。

このため、札内川ダムではやむを得ず異常洪水時防災操作(緊急放流)をすることとなり、放流量が増加しダム下流では2箇所にて堤防が決壊するなど、大きな被害が発生しました。



H28緊急放流の状況



H28札内川の堤防決壊状況  
(KP40.8左岸付近)



H28札内川の戸蓋別川合流付近堤防決壊状況  
(KP24.8左岸付近)

## 放流能力の増強に向けた検討

今後、同規模の洪水が発生しても、異常洪水時防災操作(緊急放流)を回避し、ダム下流の浸水被害の軽減を図るため、「洪水後期放流(洪水調節終了後に次の洪水に備えるため、ダム貯水位を下げる)」及び「事前放流(大雨が予測される場合、あらかじめダム貯水位を下げておく)」を目的とした放流能力増強に向けた検討を実施しています。



札内川ダム



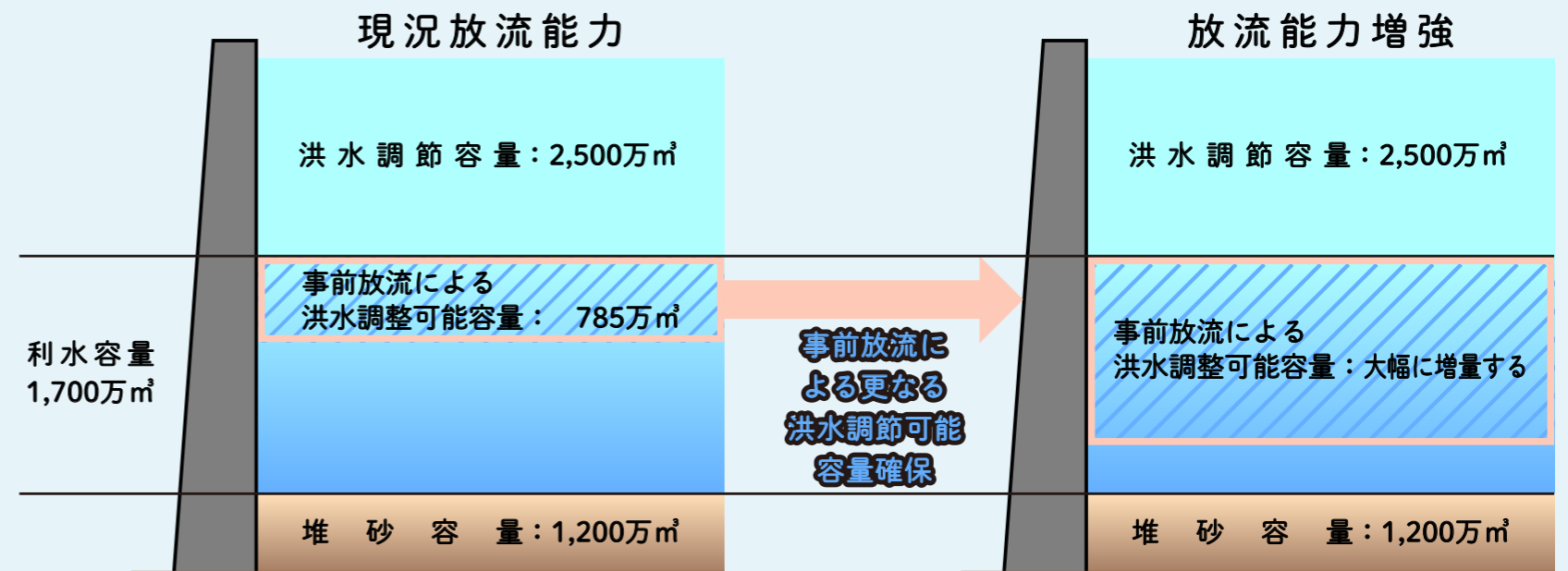
施工イメージ

施工例(他ダムの事例)

## 検討イメージ



## 事前放流による洪水調節可能容量の確保 (H28.8出水でのシミュレーション)



※本ページは検討中の内容の為、今後変更となる可能性があります。